

プラスチックごみ問題の解決・改善に向けた
啓発活動に関する
アンケート調査報告書

令和6年3月

枚方市 環境部 環境政策課

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査項目	2
3. 調査の方法	3
4. 回収結果	4
5. 報告書の見方	4
II. 調査結果	5
1. 調査結果の概要	5
2. 総括	7
3. 回答者の属性	9
4. 「プラごみダイエット行動宣言」の周知について	11
5. プラスチックごみの量を減らす行動の実施と意欲の現状	15
6. ポイ捨て・置き去りごみをゼロにするための行動の実施と意欲の現状	19
7. 啓発活動開始（令和元年前後）でのプラごみ削減に関する意識の変化ときっかけ	23
8. プラごみ削減に対する今後の意欲	30
III. 付属資料	32

I. 調査の概要

1. 調査の目的

現在、世界的に注目されている環境問題として、ペットボトルをはじめとした使い捨てプラスチックなどが適正に処理されず、河川などを通じて海へ流れ込むことが原因となる海洋プラスチックごみの問題があります。

この問題の解決・改善に向けて、枚方市は令和元年6月に使い捨てプラスチックの削減やポイ捨て防止に取り組む「ひらかたプラごみダイエット～ポイ捨てゼロ宣言」を行いました。

更に令和3年1月からは市民に向けて「ひらかたプラごみダイエット行動宣言」への参加を呼びかけました。

この行動宣言は、「マイバッグを持ち歩き、レジ袋を減らす」「マイボトルを持ち歩き、ペットボトルを減らす」など4項目からなる「プラスチックごみを減らす行動」、「ポイ捨て・置き去りごみを見つけたら拾ってごみ箱へ入れる」「地域の清掃活動などに参加する」など4項目からなる「ポイ捨て・置き去りごみをゼロにする行動」の中から、毎日の生活の中で取り組む項目を選択・宣言し、実践していくものです。

令和6年3月までに1万人に参加していただくことを目指し、ポスターやSNS、また、様々な行事やイベントにて呼びかけを行い、令和5年11月には目標とする1万人を超える参加を達成することができました。

本調査は、これらの啓発活動が市民にどれほど認知されたのか、また、啓発活動を行う前の令和元年ごろと比較して、市民のプラスチックごみの削減・ポイ捨てゼロに対する意識を向上させることができたのかを調査し、活動の効果を確認することを目的としたものです。

2. 調査項目

- (1) 「プラごみダイエット行動宣言」の周知について
- (2) プラスチックごみの量を減らす行動実施と意欲の現状
- (3) ポイ捨て・置き去りごみをゼロにするための行動の実施と意欲の現状
- (4) 啓発活動開始（令和元年）前後でのプラごみ削減に関する意識の変化ときっかけ
- (5) プラごみ削減に対する今後の意欲

3. 調査の方法

(1) 調査対象

枚方市の在住者及び来訪者

(2) 調査方法

① 広聴相談課実施「スマホアンケート」(LoGo フォームを利用)

② 環境啓発イベントでのアンケート協力呼びかけ

(3) 調査媒体

紙媒体または LoGo フォーム

(4) 調査期間

令和 5 年 9 月 23 日 (土) ~ 12 月 31 日 (日)

4. 回収結果

	スマホアンケート	イベント		合計
		LoGo フォーム	紙媒体	
回収数 (件)	1,979	137	70	2,186

5. 報告書の見方

○ 図中の「合計」には、「無回答 (回答なし)」を含んでいます。

○ 百分率 (%) は、少数第 2 位を四捨五入し、少数第 1 位まで表示しています。そのため、四捨五入の結果、比率の合計が 100% と一致しないことがあります。

○ 百分比 (%) の 0.0% の数値はグラフに表示していません。

○ 比率 (%) は、その質問の回答数を、基数 (N=Number of case) として算出しています。

○ 調査結果は、原則として回答全体の構成比と、年齢層、男女または関連する設問とのクロス集計で表示しています。

○ 本報告書において、「10~30 代」を「若年層」、「40~50 代」を「中年層」、「60 代以上」を「高齢層」として定義しています。

II. 調查結果

1. 調査結果の概要

1. 調査結果の概要

(1) 「プラごみダイエット行動宣言」の認知について

ア. 本活動の認知について【Q2 より】

啓発活動の一つである「プラごみダイエット行動宣言」の認知の割合は、市民のうち「宣言したことがある」「聞いたことはあるが、宣言したことはない」の回答者を合わせた、「聞いたことがある」と回答した 33.9%でした。

イ. 啓発活動を知ったきっかけ【Q3 より】

「枚方市ホームページで」が 17.4%と最も多く、その他に多く回答されていたのは「SNS (LINE・Facebook 等) で」の 5.1%、「ポスターを見て」の 4.0%でした。

(2) プラスチックごみに関する行動の実施と意欲の現状

ア. 量を減らす行動に対する、現在の市民の意識

(ア) 取り組んだことがある市民の割合【Q4 より】

「日頃から取り組んでいる」「時々取り組むことがある」を合わせた「取り組んだことがある」市民が全体の 85.7%でした。

(イ) 取り組んだことの無い市民の割合と意欲【Q4、Q5 より】

プラスチックごみの量の削減に取り組んだことがない市民は全体の 14.2%でしたが（【Q4 より】）、そのうち 82.3%が今後取り組みをしたいと答えていました。

イ. ポイ捨て・置き去りごみをゼロにする行動に対する、現在の市民の意識

(ア) 取り組んだことがある市民の割合【Q6 より】

「日頃から取り組んでいる」市民は全体の 74.7%であり、「日頃から取り組んでいる」「時々取り組むことがある」を合わせた「取り組んだことがある」市民は全体の 91.4%となりました。

(イ) 取り組んだことがない市民の割合と意欲【Q6、Q7 より】

ポイ捨て・置き去りごみをゼロにする行動に取り組んだことがない市民は全体の 7.8%でしたが（【Q6 より】）、そのうち 82.3%が今後取り組みをしたいと答えていました。

(3) 啓発活動開始（令和元年）前後でのプラスチック削減に関する意識の変化ときっかけ

ア. プラスチック削減の取り組みにつながった意識の変化【Q8 より】

啓発活動を開始する前の令和元年ごろと比較して、「プラスチックを削減しようという意識が高まった」と回答した市民は、「プラスチックを削減しようという意識がより一層高まった」「プラスチックを削減しようという意識が少しは高まった」を合わせた 74.2%でした。

イ. プラスチック削減に対する意識と取り組み実践の関連【Q4×Q8 のクロス集計より】

「プラスチックを削減しようという意識が高まった」割合が大きい市民ほど、プラスチック削減の取り組みを実践している割合が大きい結果となりました。

ウ. プラスチック削減の取り組み実践をしていない市民の意識の変化【Q8×Q4 のクロス集計より】

プラスチックの削減に「取り組んだことがない」と回答した市民は全体の 14.2%ですが（【Q4 より】）、そのうち 46.6%が「プラスチックを削減しようという意識が高まった」と感じたと回答しました。

エ. プラスチック削減に対する意識が高まったきっかけ【Q9 より】

プラスチック削減に対する意識が高まったきっかけとして多かったのが、「地球温暖化・気候変動問題」「ごみのポイ捨て問題」「海洋プラスチックごみ問題」という環境問題を知ったことでした。

(4) プラスチック削減に対する今後の意欲【Q10 より】

令和 6 年 4 月以降においても、63.7%の市民がプラスチック削減・ポイ捨てゼロの取り組みを「ぜひ続けたいと思う」と回答し、「どちらかという続けたいと思う」と答えた市民と合わせた「続けたいと思う」市民の割合は 91.4%でした。

2. 総括

(1) 啓発活動の成果

1-(1)-アより、環境政策課によるプラごみ削減・ポイ捨てゼロの啓発活動は、比較的広く市民に認知されたものと考えられます。

また、1-(2)より、プラごみに関する取り組みについて、市民の多くが実際に取り組み、まだ取り組んだことがない市民の中にも今後取り組みをしたいと考えている市民がいるという結果になりました。

更に1-(3)-ア、1-(4)より、啓発活動が行われる前と比較すると、多くの市民が「プラごみを削減しようという意識が高まった」と感じ、プラごみに関する取り組みを、今後も「ぜひ続けたいと思う」と回答している結果となりました。

これらの結果から、プラごみ削減・ポイ捨てゼロに関する啓発活動は、枚方市民のプラスチックごみ問題に取り組む意識を向上させ、行動変容に繋げていくことの一助になったのではないかと考えられます。

(2) 啓発活動の方法について

1-(1)-イより、ホームページは啓発活動の認知向上に一定の効果があり、また、1-(3)-エより、環境問題を知ることがプラごみ問題に対する意識向上に一定の効果があったことが読み取れる結果となりました。

(3) 課題

1-(2)-ア-(イ)、1-(2)-イ-(イ)より、現在プラごみ削減・ポイ捨てゼロの取り組みをしていない市民の中にも、今後取り組みをしたいと考えている市民が大きい割合で存在するという結果になりました。

また、1-(3)-イより、取り組みをしたことがない市民の中にも「プラごみを削減しようという意識が高まった」と感じている市民が大きい割合で存在することから、意識が高まっても実際の行動に移すことができていない市民に対して、行動変容を促すきっかけづくりが必要であると考えられます。

(4) 今後の啓発活動について

この調査報告書の結果から、今回の「プラごみ削減・ポイ捨てゼロ」の啓発活動は、市民の意識向上及び行動変容について一定の効果が得られたものと考えられます。

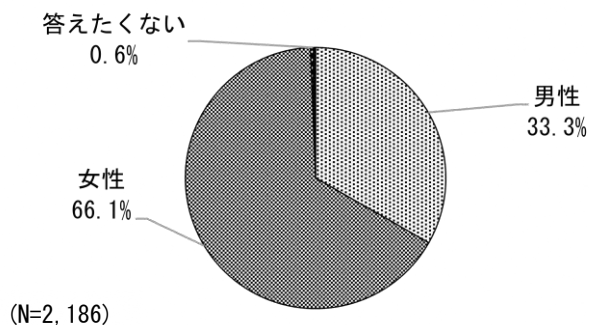
しかし、市民の中にはまだ当該活動を認知していない市民も存在しており、また、認知している中にも意識や行動があまり変わらなかったという市民もある程度の割合で見受けられました。

今後も市民に向けて「プラごみ削減・ポイ捨てゼロ」を引き続き呼び掛けることで、より幅広い市民に認知がされるよう働きかけ、意識の向上や行動が変化するように訴えかけていく必要があると考えますので、この調査報告書の結果を参考に、あらゆる媒体や機会を活用し、より魅力的なきっかけを提示することで、啓発活動に賛同し、行動する市民の増加が期待できると考えます。

2. 回答者の属性

Q1. あなたの性別についてあてはまるものを選んでください

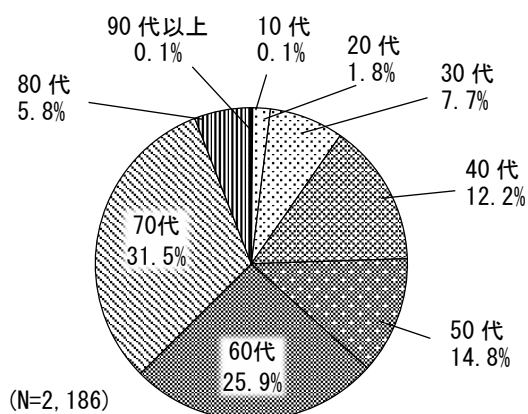
回答者の性別は、「男性」が33.3%、「女性」が66.1%であり、男女比はほぼ1：2となりました。なお、「答えたくない」と回答した人は全体の0.6%でした。



性別	回答数
男性	727
女性	1,445
答えたくない	14

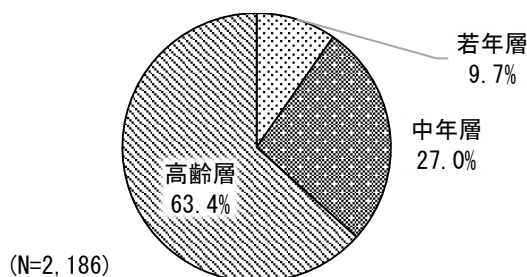
Q11. あなたの年齢についてお尋ねします

回答者の年齢は「70代」が31.5%と最も多く、次いで「60代」の25.9%、「50代」の14.8%となりました。最も少ないのは、「10代」「90代以上」の0.1%になりました。



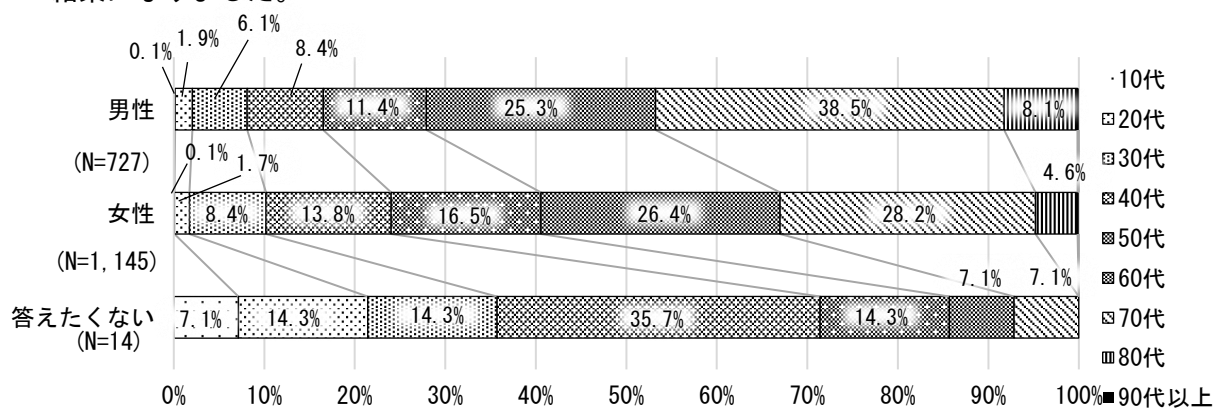
年齢	回答数
10代	3
20代	40
30代	168
40代	266
50代	324
60代	567
70代	689
80代	126
90代以上	3

また、年齢層別の集計では「若年層」が9.7%、「中年層」が27.0%、「高齢層」が63.4%という結果になりました。



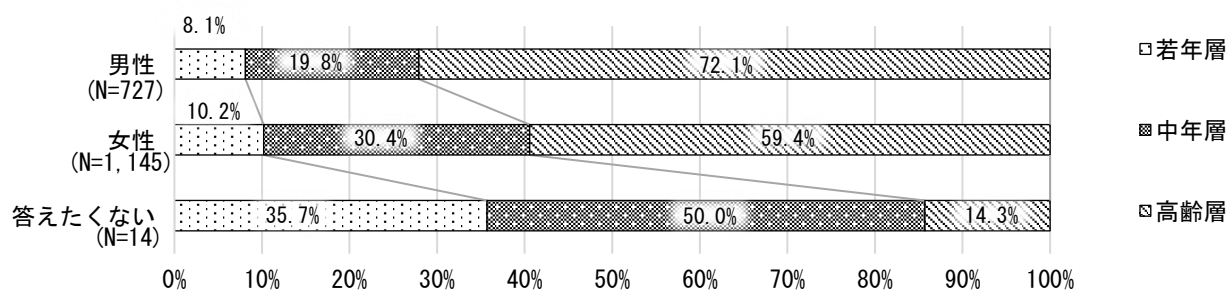
年齢	回答数
若年層	211
中年層	590
高齢層	1,385

また、男女別の集計では、男性の方が女性よりも回答者の年齢が高い傾向があるという結果になりました。



(クロス集計結果)【男女別】年齢分布

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計
男性	0.1% (1件)	1.9% (14件)	6.1% (44件)	8.4% (61件)	11.4% (83件)	25.3% (184件)	38.5% (280件)	8.1% (59件)	0.1% (1件)	100% (727件)
女性	0.1% (1件)	1.7% (24件)	8.4% (122件)	13.8% (200件)	16.5% (239件)	26.4% (382件)	28.2% (408件)	4.6% (67件)	0.1% (2件)	100% (1445件)
答えたくない	7.1% (1件)	14.3% (2件)	14.3% (2件)	35.7% (5件)	14.3% (2件)	7.1% (1件)	7.1% (1件)	0.0% (0件)	0.0% (0件)	100% (14件)
合計	3件	40件	168件	266件	324件	567件	689件	126件	3件	2,186件



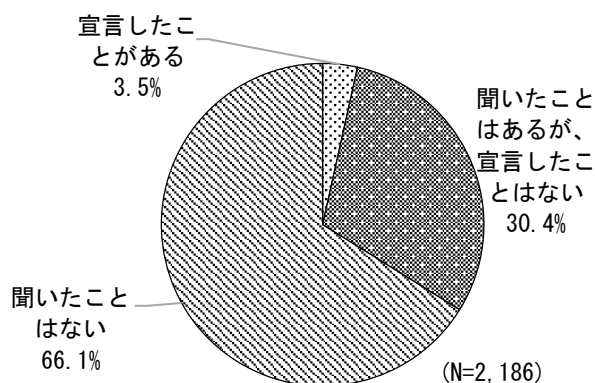
(クロス集計結果)【男女別】年齢層分布

	若年層	中年層	高齢層	合計
男性	8.1% (59件)	19.8% (144件)	72.1% (524件)	100% (727件)
女性	10.2% (147件)	30.4% (439件)	59.4% (859件)	100% (1445件)
答えたくない	35.7% (5件)	50.0% (7件)	14.3% (2件)	100% (14件)
合計 (件)	211件	590件	1,385件	2,186件

4. 「プラごみダイエット行動宣言」の認知について

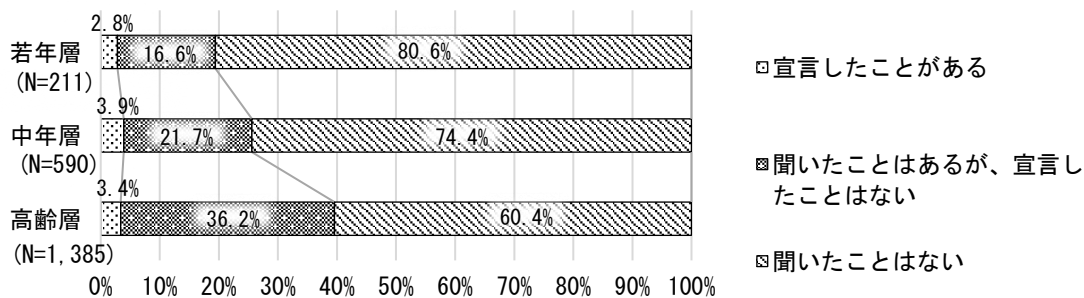
Q2. 「プラごみダイエット行動宣言」についてお聞きになったことはありますか

「宣言したことがある」「聞いたことはあるが、宣言したことはない」を合わせた「聞いたことがある」割合は33.9%になりました。



回答	回答数
宣言したことがある	76
聞いたことはあるが、宣言したことはない	664
聞いたことはない	1,446

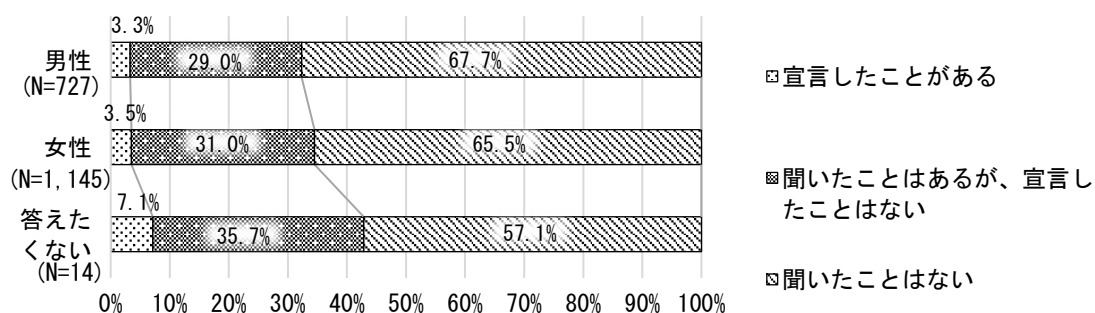
また、年齢層別の集計では、年齢が高くなるにつれて「聞いたことがある」と回答する割合が大きい結果になりました。



(クロス集計結果) 【年齢層別】「プラごみダイエット行動宣言」周知割合

	宣言したことがある	聞いたことはあるが、宣言したことはない	聞いたことはない	合計 (件)
若年層	2.8% (6件)	16.6% (35件)	80.6% (170件)	100% (211件)
中年層	3.9% (23件)	21.7% (128件)	74.4% (439件)	100% (590件)
高齢層	3.4% (47件)	36.2% (501件)	60.4% (837件)	100% (1,385件)
合計	76件	664件	1,446件	2,186件

男女別の集計では、周知割合は男女でそれほど差がないという結果になりました。

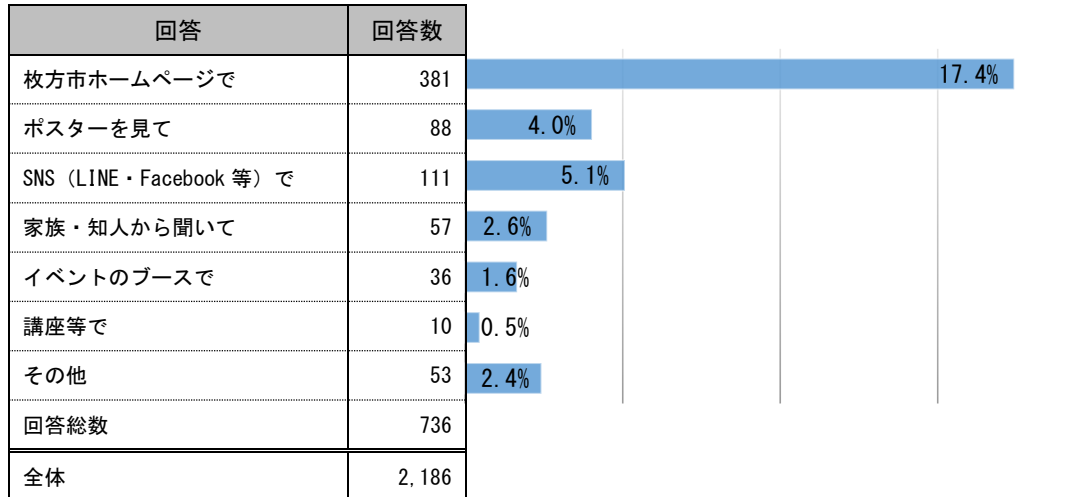


(クロス集計結果)【男女別】「プラごみダイエット行動宣言」周知割合

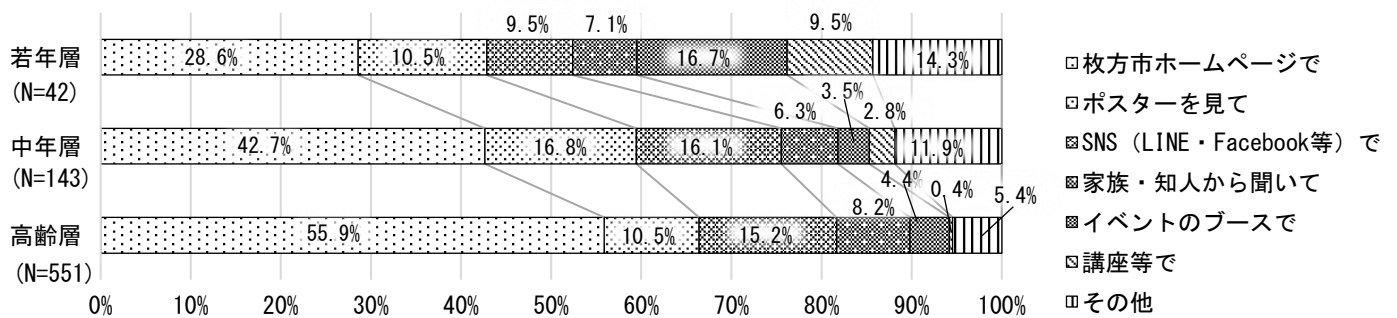
	宣言したことがある	聞いたことはあるが、 宣言したことはない	聞いたことはない	合計 (件)
男性	3.3% (24 件)	29.0% (211 件)	67.7% (492 件)	100% (727 件)
女性	3.5% (51 件)	31.0% (448 件)	65.5% (946 件)	100% (1,145 件)
答えたくない	7.1% (1 件)	35.7% (5 件)	57.1% (8 件)	100% (14 件)
合計	76 件	664 件	1,446 件	2,186 件

Q3.「プラごみダイエット行動宣言」についてどこでお知りになりましたか（複数選択可）

「プラごみダイエット行動宣言」を知ったきっかけについては、「枚方市のホームページで」が最も多く17.4%、次いで「SNS（LINE・Facebook等）で」が5.1%、「ポスターを見て」が4.0%という結果になりました。



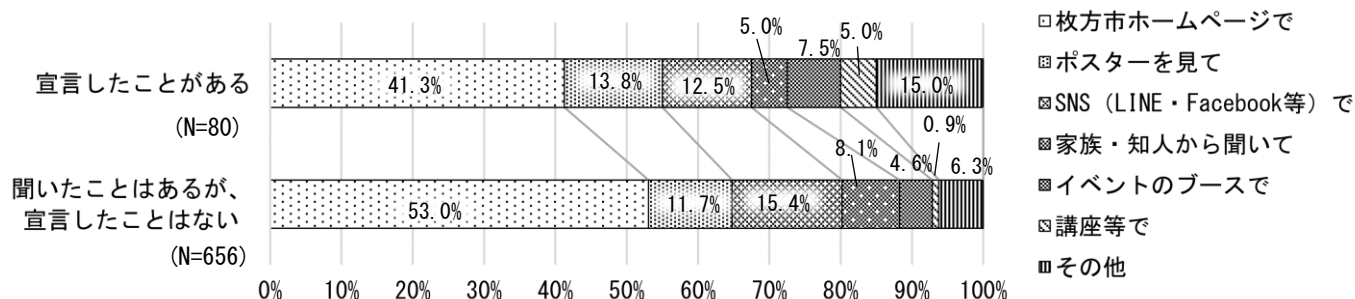
また、年齢層別の集計では、全年齢層を通して「枚方市ホームページで」という回答が最も多く、年齢が高くなるにつれその割合が大きくなる結果になりました。さらに、若年層の特徴として、「イベントのブースで」「講座等で」と回答した割合が高齢者と比較すると大きいという結果になりました。



(クロス集計結果)【年齢層別】「プラごみダイエット宣言」を知った方法

	枚方市ホームページで	ポスターを見て	SNS (LINE・Facebook等)で	家族・知人から聞いて	イベントのブースで	講座等で	その他	合計 (件)
若年層	28.6% (12件)	14.3% (6件)	9.5% (4件)	7.1% (3件)	16.7% (7件)	9.5% (4件)	14.3% (6件)	100% (42件)
中年層	42.7% (61件)	16.8% (24件)	16.1% (23件)	6.3% (9件)	3.5% (5件)	2.8% (4件)	11.9% (17件)	100% (143件)
高齢層	55.9% (308件)	10.5% (58件)	15.2% (84件)	8.2% (45件)	4.4% (24件)	0.4% (2件)	5.4% (30件)	100% (551件)
合計	381件	88件	111件	57件	36件	10件	53件	736件

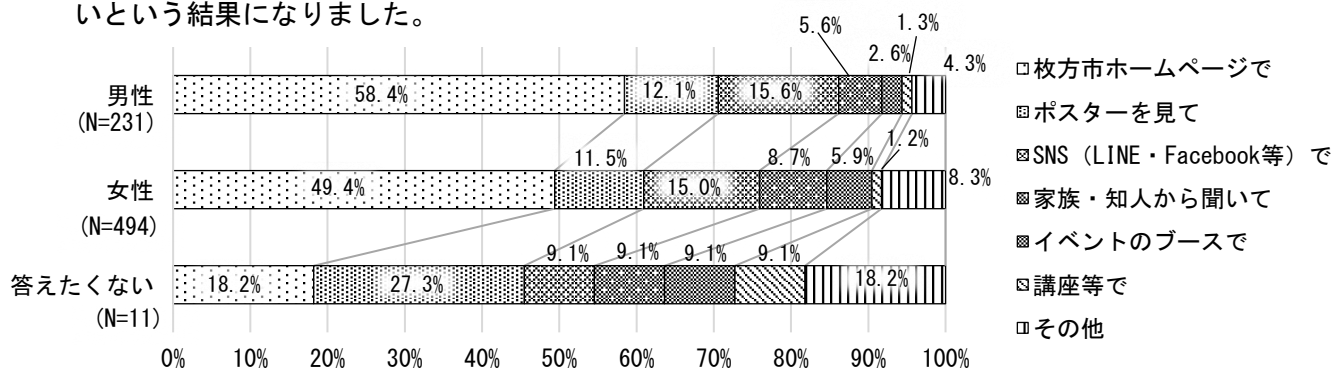
Q2とのクロス集計では、「聞いたことはあるが、宣言したことはない」回答者と比較すると、「宣言したことがある」の回答者は「ポスターを見て」「イベントのブースで」「講座等で」と回答した割合が大きいいという結果になりました。



(クロス集計結果)【宣言の有無別】「プラごみダイエット宣言」を知った方法

	枚方市ホームページで	ポスターを見て	SNS (LINE・Facebook等)で	家族・知人から聞いて	イベントのブースで	講座等で	その他	合計 (件)
宣言したことがある	41.3% (33件)	13.8% (11件)	12.5% (10件)	5.0% (4件)	7.5% (6件)	5.0% (4件)	15% (12件)	100% (80件)
聞いたことはあるが、宣言したことはない	53.0% (348件)	11.7% (77件)	15.4% (101件)	8.1% (53件)	4.6% (30件)	0.9% (6件)	6.3% (41件)	100% (656件)
合計	381件	88件	111件	57件	36件	10件	53件	736件

男女別の集計では、男性の方が女性よりも、ホームページで知った割合がわずかに大きいという結果になりました。



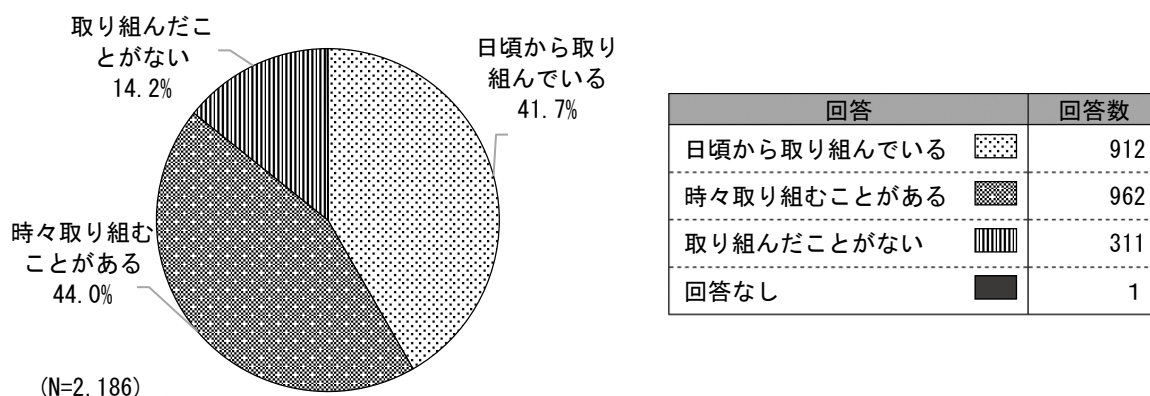
(クロス集計結果)【男女別】「プラごみダイエット宣言」を知った方法

	枚方市ホームページで	ポスターを見て	SNS (LINE・Facebook等)で	家族・知人から聞いて	イベントのブースで	講座等で	その他	合計 (件)
男性	58.4% (135件)	12.1% (28件)	15.6% (36件)	5.6% (13件)	2.6% (6件)	1.3% (3件)	4.3% (10件)	100% (231件)
女性	49.4% (244件)	11.5% (57件)	15.0% (74件)	8.7% (43件)	5.9% (29件)	1.2% (6件)	8.3% (41件)	100% (494件)
答えたくない	18.2% (2件)	27.3% (3件)	9.1% (1件)	9.1% (1件)	9.1% (1件)	9.1% (1件)	18.2% (2件)	100% (11件)
合計	381件	88件	111件	57件	36件	10件	53件	736件

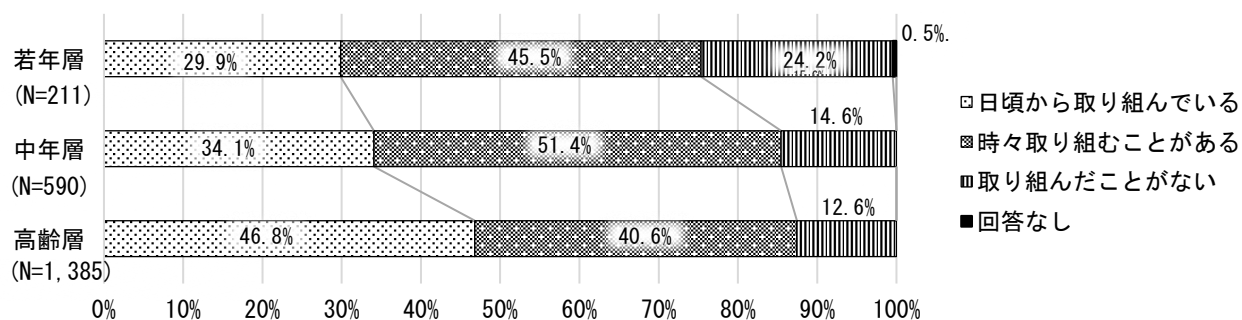
5. プラスチックごみの量を減らす行動の実施と意欲の現状

Q4. 使い捨てプラスチックの使用を控え、プラスチックごみの量を減らす行動に取り組んでいますか。

「日頃から取り組んでいる」「時々取り組むことがある」を合わせた「取り組んだことがある」割合は85.7%になりました。また、「取り組んだことがない」割合は14.2%になりました。



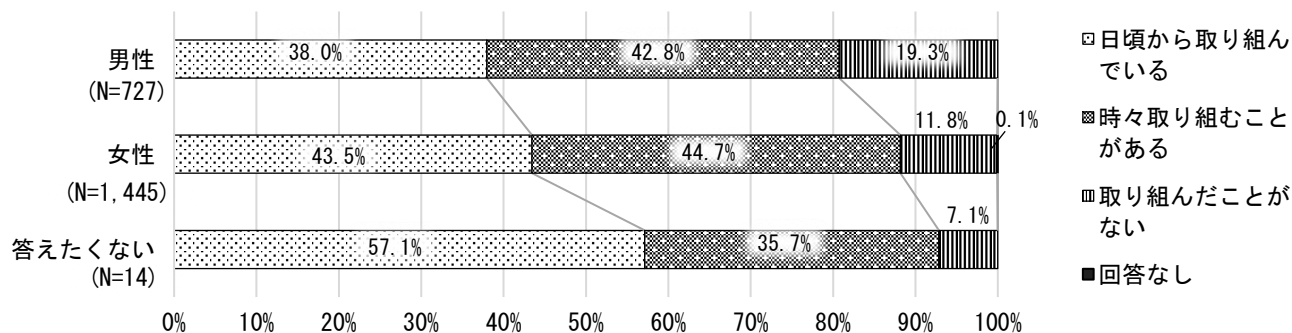
また、年齢層別の集計では、「取り組んだことがある」割合が最も大きいのは高齢層であるが、「時々取り組むことがある」と回答した割合が最も多いのは中年層であるという結果になりました。



(クロス集計結果)【年齢層別】現在のプラスチックごみ削減に対する取り組み状況

	日頃から取り組んでいる	時々取り組むことがある	取り組んだことがない	回答なし	合計 (件)
若年層	29.9% (63件)	45.5% (96件)	24.2% (51件)	0.5% (1件)	100% (1,385件)
中年層	34.1% (201件)	51.4% (303件)	14.6% (86件)	0.0% (0件)	100% (590件)
高齢層	46.8% (648件)	40.6% (563件)	12.6% (174件)	0.0% (0件)	100% (211件)
合計 (件)	912件	962件	311件	1件	2,186件

男女別の集計では、男性よりも女性の方がわずかに「取り組んだことがある」という回答の割合が大きい結果になりました。

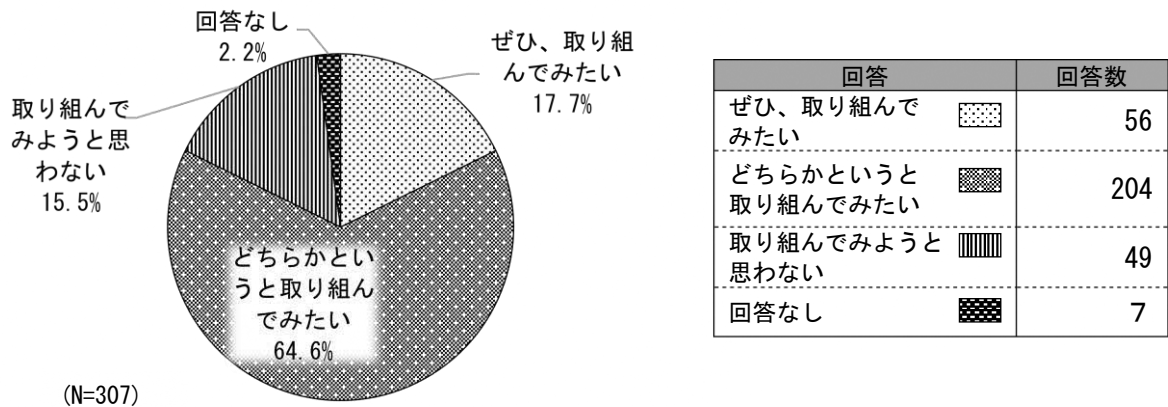


(クロス集計結果)【男女別】現在のプラスチックごみ削減に対する取り組み状況

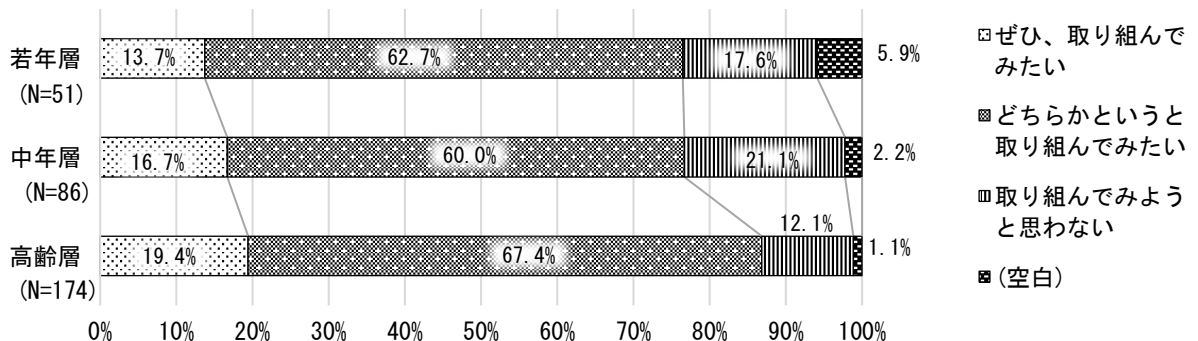
	日頃から取り組んでいる	時々取り組むことがある	取り組んだことがない	回答なし	合計 (件)
男性	38.0% (276 件)	42.8% (311 件)	19.3% (140 件)	0.0% (0 件)	100% (727 件)
女性	43.5% (628 件)	44.7% (646 件)	11.8% (170 件)	0.1% (1 件)	100% (1,445 件)
答えたくない	57.1% (8 件)	35.7% (5 件)	7.1% (1 件)	0.0% (0 件)	100% (14 件)
合計	912 件	962 件	311 件	1 件	2,186 件

Q5. (Q4にて「取り組んだことがない」と回答した方に質問)
 プラスチックごみの量を減らす行動について、今後取り組んでみたいと思いますか。

「プラスチックごみの量の削減に取り組んだことがない」と回答した対象者に、今後の取り組みに関する意欲を調査したところ、「ぜひ、取り組んでみたい」「どちらかという
 と取り組んでみたい」を合わせた「取り組んでみたい」割合は82.3%になりました。また、「取り組んでみようと思わない」割合は15.5%になりました。



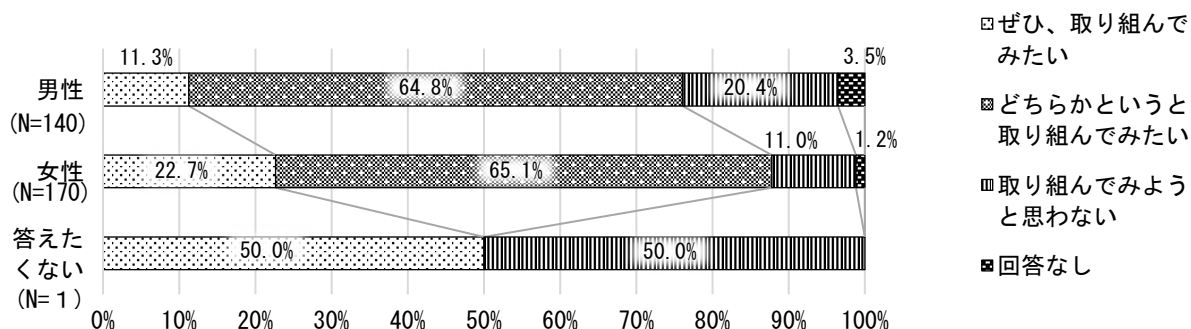
また、年齢層別の集計では、「取り組んでみたい」割合が最も大きいのは高齢層である
 という結果になりました。



(クロス集計結果)【年齢層別】今後のプラスチックごみ削減に対する意欲

	ぜひ、取り組ん でみたい	どちらかという と取り組んでみたい	取り組んでみよ うと思わない	回答なし	合計 (件)
若年層	13.7% (7件)	62.7% (32件)	17.6% (9件)	5.9% (3件)	100% (51件)
中年層	16.7% (15件)	60.0% (54件)	21.1% (19件)	2.2% (2件)	100% (86件)
高齢層	19.4% (34件)	67.4% (118件)	12.1% (21件)	1.1% (2件)	100% (174件)
合計	56件	204件	49件	7件	316件

男女別の集計結果では、男性よりも女性の方が「取り組んでみたい」という回答の割合が大きいという結果になりました。



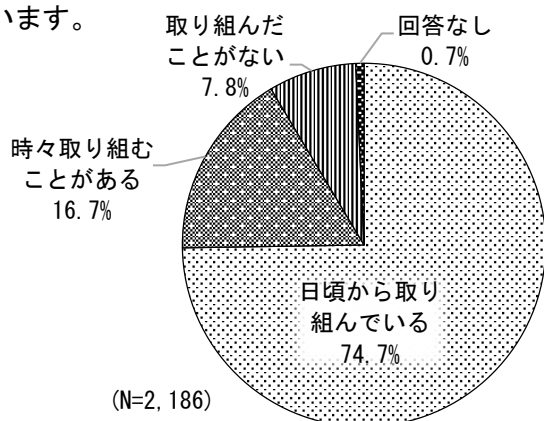
(クロス集計結果)【男女別】今後のプラスチックごみ削減に対する意欲

	ぜひ、取り組んでみたい	どちらかというに取り組んでみたい	取り組んでみようと思わない	回答なし	合計 (件)
男性	11.3% (16件)	64.8% (92件)	20.4% (29件)	3.5% (5件)	100% (142件)
女性	22.7% (39件)	65.1% (112件)	11.0% (19件)	1.2% (2件)	100% (172件)
答えたくない	50.0% (1件)	0.0% (0件)	50.0% (1件)	0.0% (0件)	100% (2件)
合計	52件	203件	49件	7件	316件

6. ポイ捨て・置き去りごみをゼロにするための行動の実施と意欲の現状

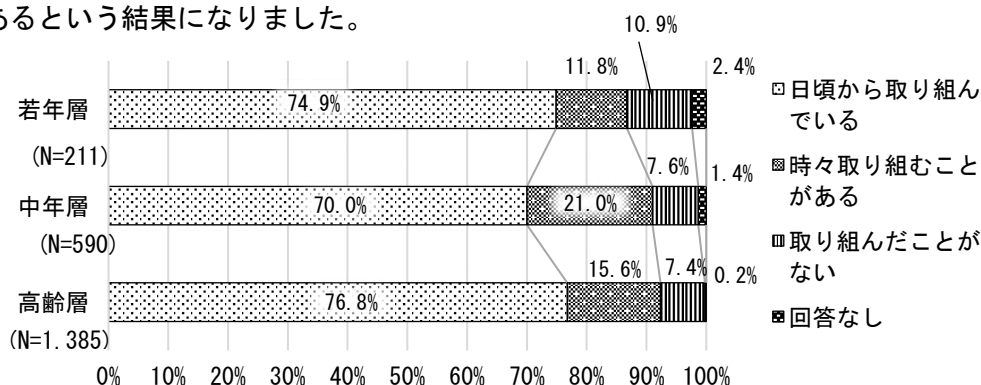
Q6. ポイ捨て・置き去りごみをゼロにするための行動に取り組んでいますか

「日頃から取り組んでいる」「時々取り組むことがある」を合わせた「取り組んだことがある」割合は91.4%になりました。また、「取り組んだことがない」割合は7.8%になっています。



回答	回答数
日頃から取り組んでいる	1,634
時々取り組むことがある	365
取り組んだことがない	171
回答なし	16

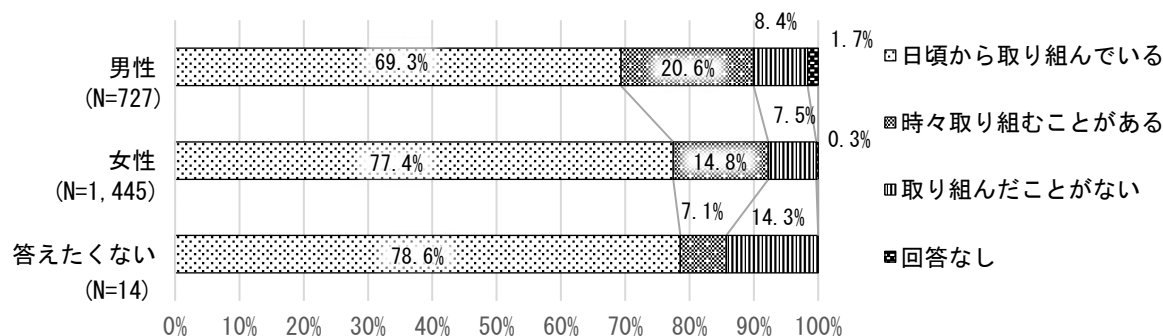
また、年齢層別の集計では、「取り組んだことがある」割合が最も大きいのは高齢層であるという結果になりました。



(クロス集計結果) 【年齢層別】現在のポイ捨て・置き去りゼロに対する取り組み状況

	日頃から取り組んでいる	時々取り組むことがある	取り組んだことがない	回答なし	合計 (件)
若年層	74.9% (158 件)	11.8% (25 件)	10.9% (23 件)	2.4% (5 件)	100% (211 件)
中年層	70.0% (413 件)	21.0% (124 件)	7.6% (45 件)	1.4% (8 件)	100% (590 件)
高齢層	76.8% (1063 件)	15.6% (216 件)	7.4% (103 件)	0.2% (3 件)	100% (1,385 件)
合計	1,634 件	365 件	171 件	16 件	2,186 件

男女別の集計結果は、「取り組んだことがある」割合はほとんど差がないものの、その内訳は「日頃から取り組んでいる」の割合が男性よりも女性の方がわずかに大きい結果になりました。



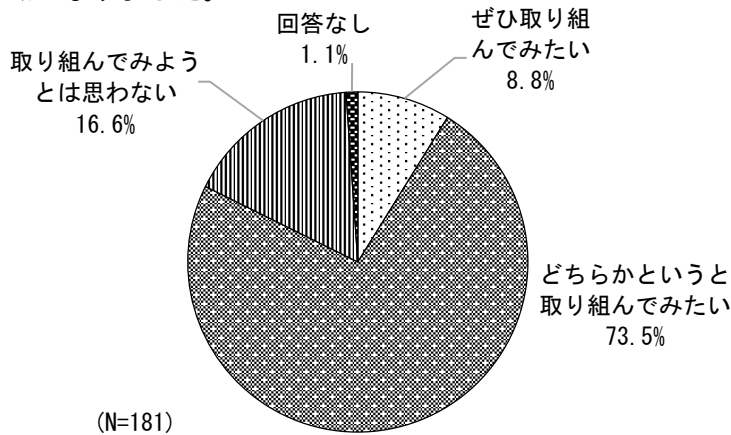
(クロス集計結果)【男女別】現在のポイ捨て・置き去りゼロに対する取り組み状況

	日頃から取り組んでいる	時々取り組むことがある	取り組んだことがない	回答なし	合計 (件)
男性	69.3% (504 件)	20.6% (150 件)	8.4% (61 件)	1.7% (12 件)	100% (727 件)
女性	77.4% (1119 件)	14.8% (214 件)	7.5% (108 件)	0.3% (4 件)	100% (1,445 件)
答えたくない	78.6% (11 件)	7.1% (1 件)	14.3% (2 件)	0.0% (0 件)	100% (14 件)
合計	1,634 件	365 件	171 件	16 件	2,186 件

Q7. (Q6にて「取り組んだことがない」と回答した方に質問)

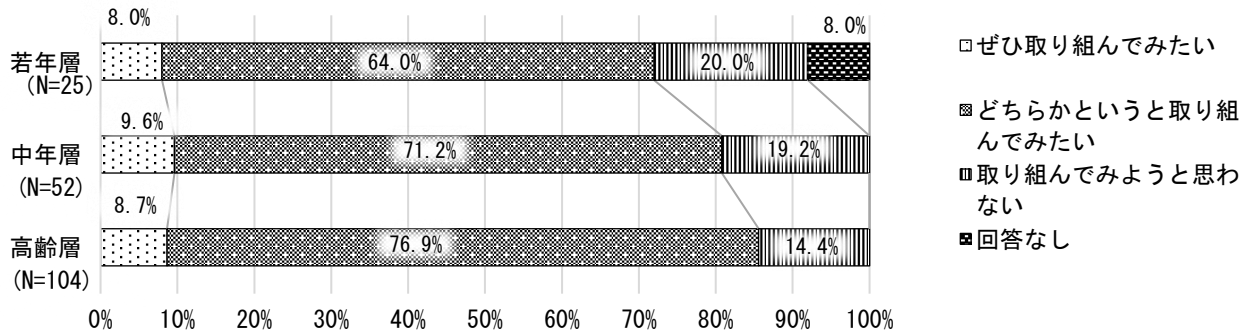
ポイ捨て・置き去りごみをゼロにするための行動について、今後取り組んでみたいと思いますか。

「ぜひ、取り組んでみたい」「どちらかというところ取り組んでみたい」を合わせた「取り組んでみたい」割合は82.3%になりました。また、「取り組んでみようと思わない」割合は16.6%になりました。



回答	回答数
ぜひ取り組んでみたい	16
どちらかというところ取り組んでみたい	133
取り組んでみようと思わない	30
回答なし	2

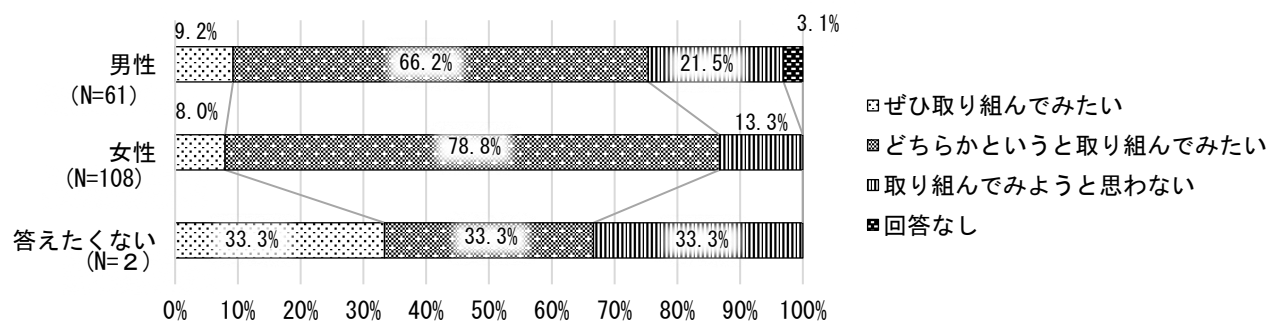
また、年齢層別の集計では、年齢が高くなるにつれ、「取り組んでみたい」割合が大きくなるという結果になりました。



(クロス集計結果)【年齢層別】今後のポイ捨て・置き去りゼロに対する意欲

	ぜひ、取り組んでみたい	どちらかというところ取り組んでみたい	取り組んでみようと思わない	回答なし	合計 (件)
若年層	8.0% (2件)	64.0% (16件)	20.0% (5件)	8.0% (2件)	100% (104件)
中年層	9.6% (5件)	71.2% (37件)	19.2% (10件)	0.0% (0件)	100% (52件)
高齢層	8.7% (9件)	76.9% (80件)	14.4% (15件)	0.0% (0件)	100% (25件)
合計	16件	133件	30件	2件	181件

男女別の集計結果は、「ぜひ取り組んでみたい」と回答した割合にほとんど差はみられないものの、「どちらかというとなり組んでみたい」と回答した割合は女性の方が大きいという結果になりました。



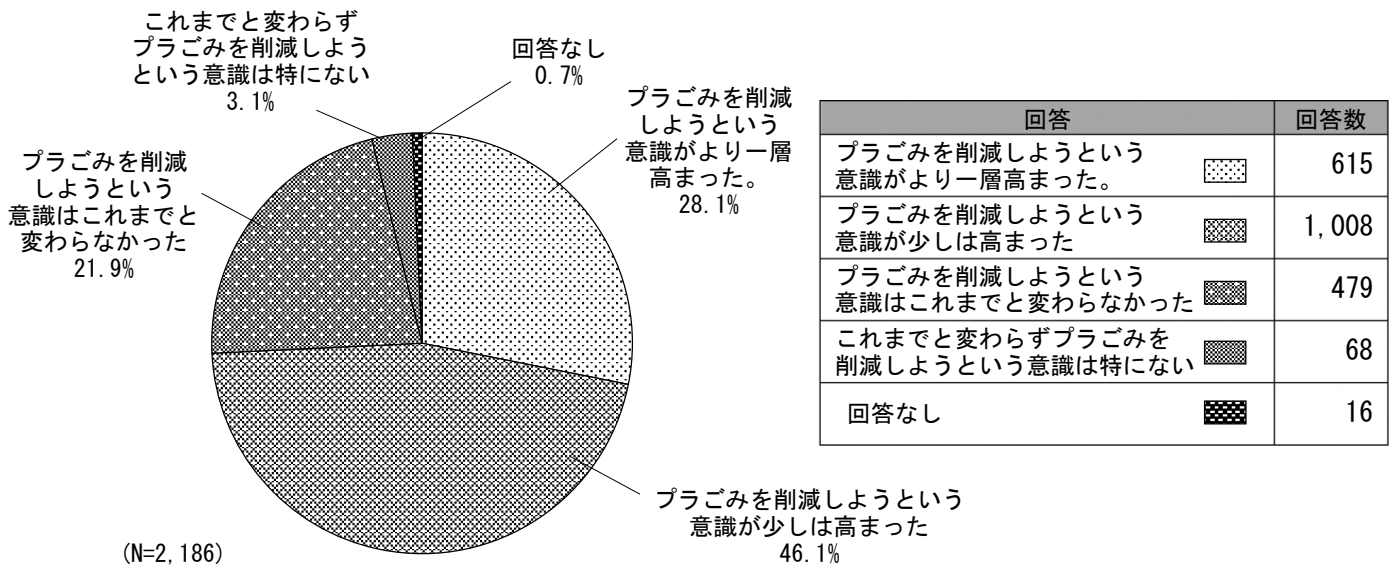
(クロス集計結果)【男女別】今後のポイ捨て・置き去りゼロに対する意欲

	ぜひ、取り組んでみたい	どちらかというとなり組んでみたい	取り組んでみようと思わない	回答なし	合計 (件)
男性	9.2% (6件)	66.2% (43件)	21.5% (14件)	3.1% (2件)	100% (65件)
女性	8.0% (9件)	78.8% (89件)	13.3% (15件)	0.0% (0件)	100% (113件)
答えたくない	33.3% (1件)	33.3% (1件)	33.3% (1件)	0.0% (0件)	100% (3件)
合計	11件	128件	30件	2件	171件

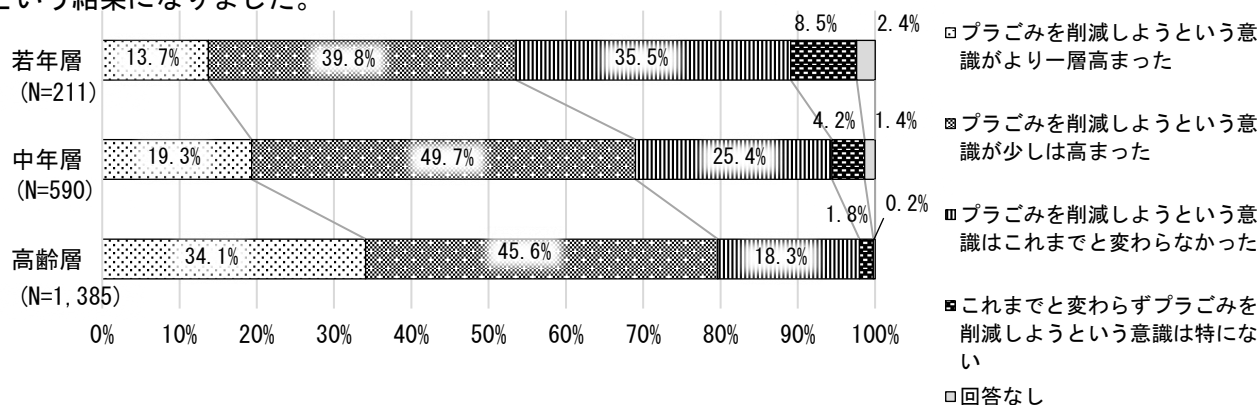
7. 啓発活動開始（令和元年）前後でのプラごみ削減に関する意識の変化と きっかけ

Q8. 「プラごみダイエット行動宣言」が開始される前の令和元年ごろと比較して、あなたのプラごみの削減に対する意識をお聞かせください。

「プラごみを削減しようという意識がより一層高まった」「プラごみを削減しようという意識が少しは高まった」を合わせた「意識が高まった」割合は74.2%となりました。また、「プラごみを削減しようという意識はこれまでと変わらなかった」割合は21.9%、「これまでと変わらずプラごみを削減しようという意識は特にない」割合は3.1%になりました



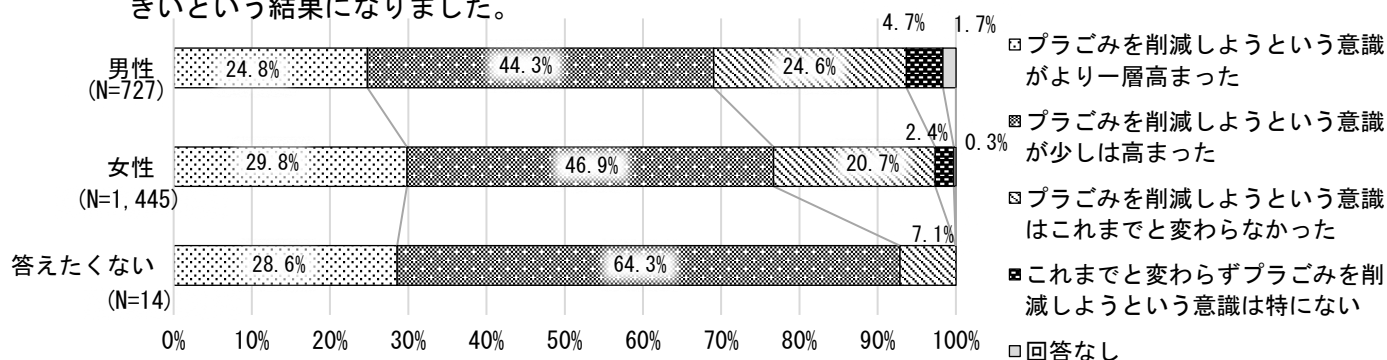
また、年齢層別の集計では、年齢層が高くなるにつれ「プラごみを削減しようという意識がより一層高まった」と回答した割合が大きくなり、年齢層が低くなるにつれ「これまでと変わらずプラごみを削減しようという意識は特にない」と回答した割合が小さくなるという結果になりました。



(クロス集計結果)【年齢層別】啓発活動開始前後でのプラごみ削減に関する意識の変化

	意識がより一層高まった	意識が少しは高まった	意識はこれまでと変わらなかった	これまでと変わらず意識は特にない	回答なし	合計 (件)
若年層	13.7% (29 件)	39.8% (84 件)	35.5% (75 件)	8.5% (18 件)	2.4% (5 件)	100% (211 件)
中年層	19.3% (114 件)	49.7% (293 件)	25.4% (150 件)	4.2% (25 件)	1.4% (8 件)	100% (590 件)
高齢層	34.1% (472 件)	45.6% (631 件)	18.3% (254 件)	1.8% (25 件)	0.2% (3 件)	100% (1,385 件)
合計 (件)	615 件	1,008 件	479 件	68 件	16 件	2,186 件

男女別の集計結果は、女性の方が「意識が高まった」と回答している割合がわずかに大きいという結果になりました。

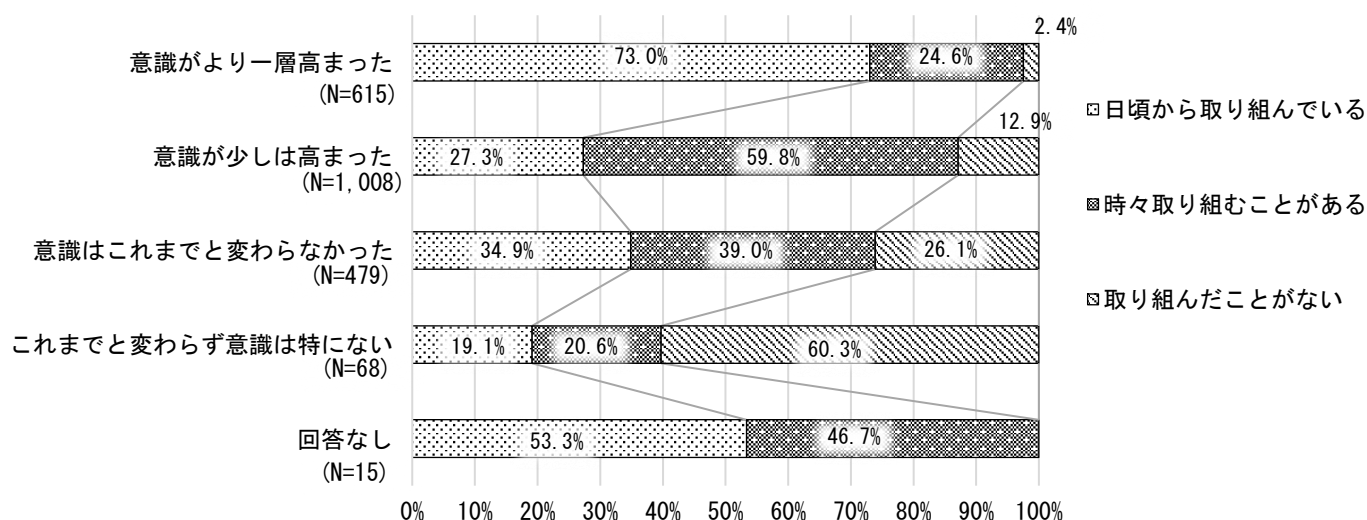


(クロス集計結果)【男女別】啓発活動開始前後でのプラごみ削減に関する意識の変化

	意識がより一層高まった	意識が少しは高まった	意識はこれまでと変わらなかった	これまでと変わらず意識は特にない	回答なし	合計 (件)
男性	24.8% (180 件)	44.3% (322 件)	24.6% (179 件)	4.7% (34 件)	1.7% (12 件)	100% (727 件)
女性	29.8% (431 件)	46.9% (677 件)	20.7% (299 件)	2.4% (34 件)	0.3% (4 件)	100% (1,445 件)
答えたくない	28.6% (4 件)	64.3% (9 件)	7.1% (1 件)	0.0% (0 件)	0.0% (0 件)	100% (14 件)
合計	615 件	1,008 件	479 件	68 件	16 件	2,186 件

Q4「使い捨てプラスチックの使用を控え、プラスチックごみの量を減らす行動に取り組んでいますか」の設問とのクロス集計（Q4を値、Q8を項目として集計）で、プラごみ削減の意識の変化と実践の関連を集計した結果、プラごみ削減の意識が高まった割合が大きいほど、「日頃から取り組んでいる」「時々取り組むことがある」を合わせた「取り組んでいる」という回答をした割合が大きいという結果になりました。

【参考】「より一層高まった」＝「日頃から～」73.0%、「時々～」24.6% 合計 97.6%
「少しは高まった」＝「日頃から～」27.3%、「時々～」59.8% 合計 87.1%、
「変わらなかった」＝「日頃から～」34.9%、「時々～」39.0% 合計 73.9%
「特にない」＝「日頃から～」19.1%、「時々～」20.6% 合計 39.7%



※Q4及びQ8のどちらも無回答1件

（クロス集計結果）プラごみ削減の意識の変化と実践の関連

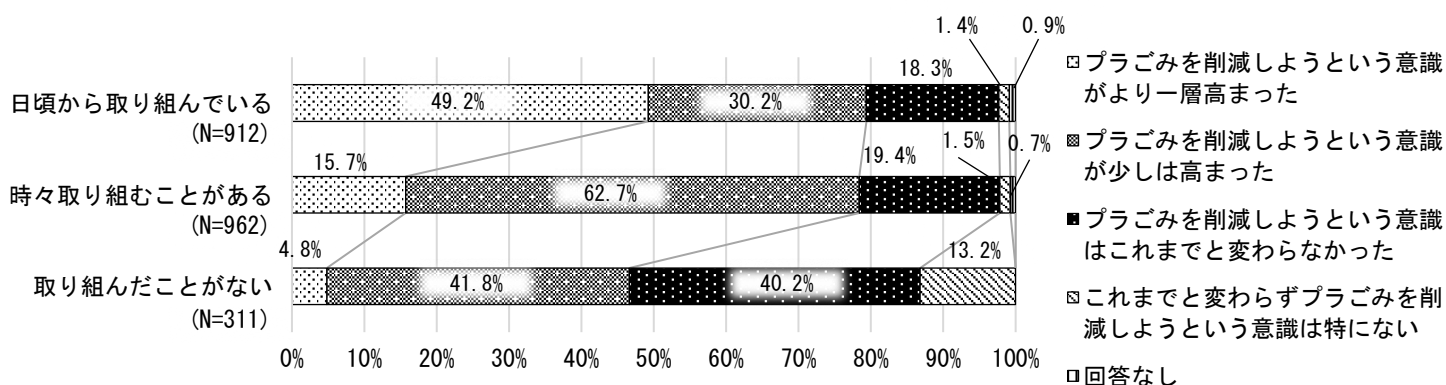
	日頃から取り組んでいる	時々取り組むことがある	取り組んだことがない	合計（件）
意識がより一層高まった	73.0% (449件)	24.6% (151件)	2.4% (15件)	100% (615件)
意識が少しは高まった	27.3% (275件)	59.8% (603件)	12.9% (130件)	100% (1,008件)
意識はこれまでと変わらなかった	34.9% (167件)	39.0% (187件)	26.1% (125件)	100% (479件)
これまでと変わらず意識は特にない	19.1% (13件)	20.6% (14件)	60.3% (41件)	100% (68件)
回答なし	53.3% (8件)	46.7% (7件)	0% (0件)	100% (15件)
合計	912件	962件	311件	2,185件

また、同じく Q4 とのクロス集計を行った結果、(Q8 を値、Q4 を項目として集計)「プラスチック削減に取り組んだことがない」回答者の中でも、46.6%の回答者がプラスチック削減への意識が高まっていると感じている結果になりました。

【参考】「取り組んだことがない」回答者、全 311 件。

内、「より一層高まった」15 件 (4.8%)、「少しは高まった」130 件 (41.8%)

合計 145 件 (46.6%)

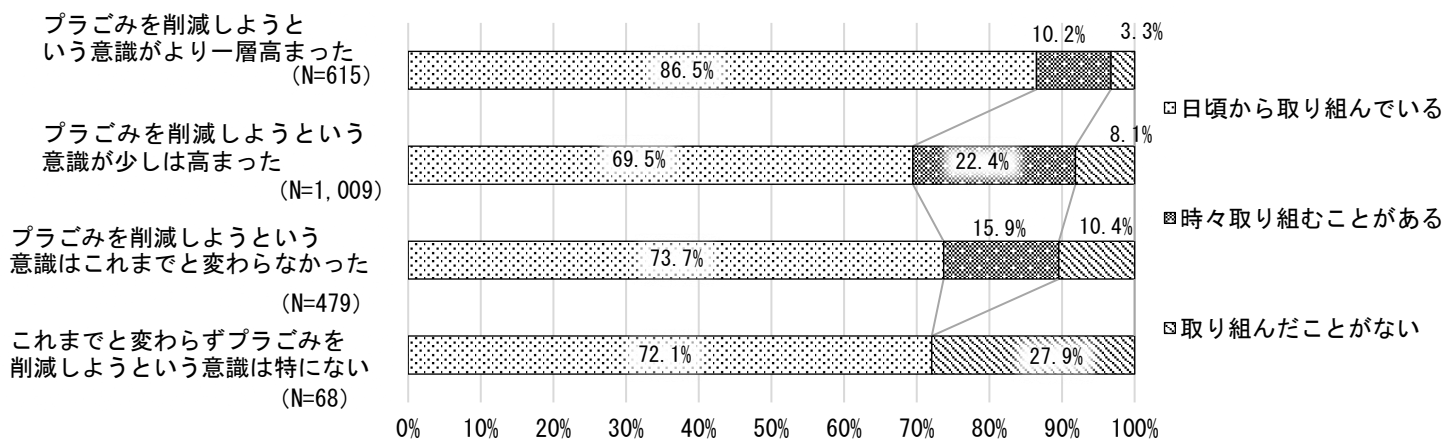


(クロス集計結果) プラスチック削減の取り組み実践をしていない市民の意識の変化

	意識がより一層高まった	意識が少しは高まった	意識はこれまでと変わらなかった	これまでと変わらず意識は特にない	回答なし	合計 (件)
日頃から取り組んでいる	4.8% (15 件)	41.8% (130 件)	40.2% (125 件)	13.2% (41 件)	0.0% (0 件)	311 件
時々取り組むことがある	15.7% (151 件)	62.7% (603 件)	18.3% (187 件)	1.5% (14 件)	0.7% (7 件)	962 件
日頃から取り組んでいる	49.2% (449 件)	30.2% (275 件)	18.3% (167 件)	1.4% (13 件)	0.9% (8 件)	912 件
合計	615 件	1,008 件	479 件	68 件	15 件	2,185 件

Q6「ポイ捨て・置き去りごみをゼロにするための行動に取り組んでいますか」の設問とのクロス集計では、「取り組んでいる」と回答した割合について、プラごみを削減しようという意識が高いほど割合が大きいという結果となりました。

【参考】「より一層高まった」＝「日頃から～」86.5%、「時々～」10.2% 合計96.7%、
「少しは高まった」＝「日頃から～」69.5%、「時々～」22.4% 合計91.9%、
「変わらなかった」＝「日頃から～」73.7%、「時々～」15.9% 合計89.6%、
「特にない」＝「日頃から～」72.1%、「時々～」0.0% 合計72.1%



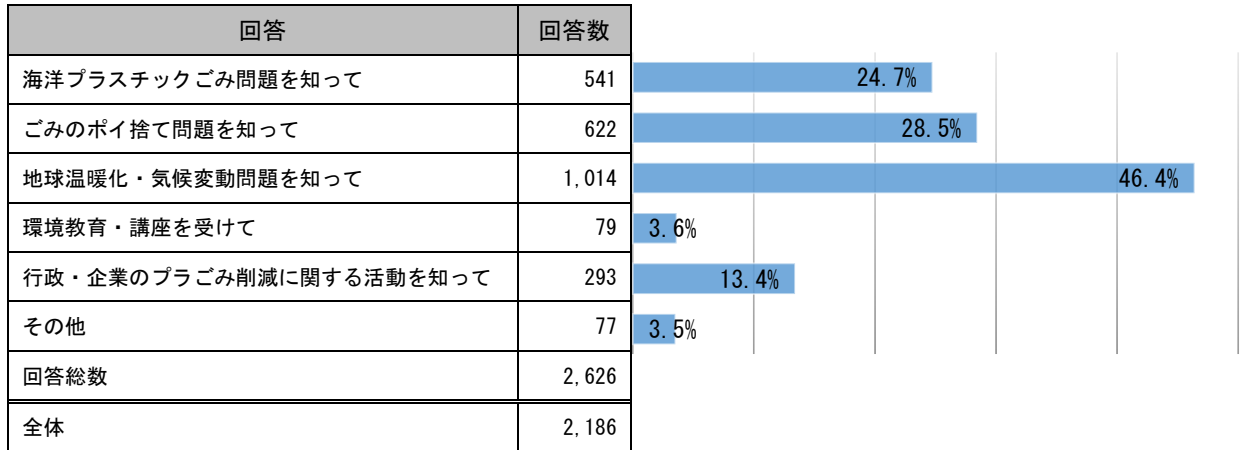
※Q6及びQ8のどちらも無回答 15件

(クロス集計結果) 【ポイ捨て・置き去りゼロに対する取り組み状況別】プラごみ削減に関する意識の変化

	日頃から取り組んでいる	時々取り組むことがある	取り組んだことがない	合計 (件)
プラごみを削減しようという意識がより一層高まった	86.5% (532件)	10.2% (63件)	3.3% (20件)	100% (615件)
プラごみを削減しようという意識が少しは高まった	69.5% (701件)	22.4% (226件)	8.1% (82件)	100% (1,009件)
プラごみを削減しようという意識はこれまでと変わらなかった	73.7% (353件)	15.9% (76件)	10.4% (50件)	100% (479件)
これまでと変わらずプラごみを削減しようという意識は特にない	72.1% (49件)	0.0% (0件)	27.9% (19件)	100% (68件)
合計	1,635件	365件	171件	2,171件

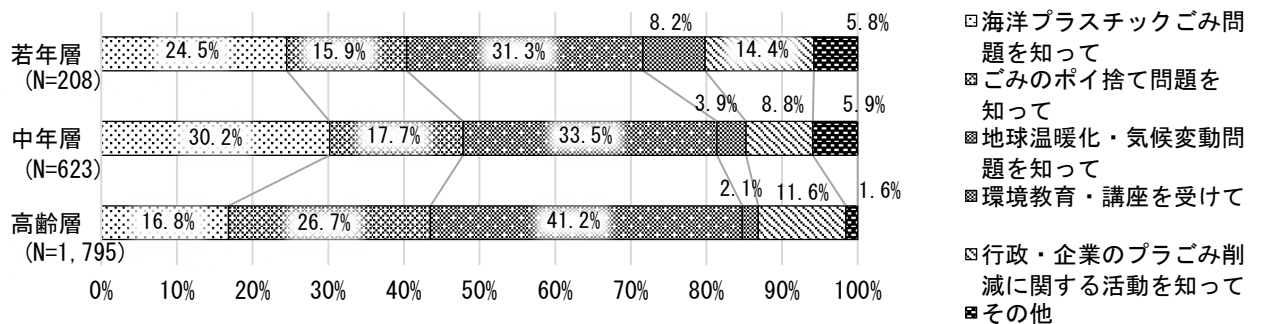
Q9. プラごみ削減に対する意識が高まったきっかけについてお答えください。(複数選択可)

「地球温暖化・気候変動問題を知って」が最も多く46.4%、次いで「ごみのポイ捨て問題を知って」が28.5%、「海洋プラスチックごみ問題を知って」が24.7%となりました。



また、すべての年齢層に共通して「地球温暖化・気候変動問題を知って」の割合が最も大きいという結果になりました。

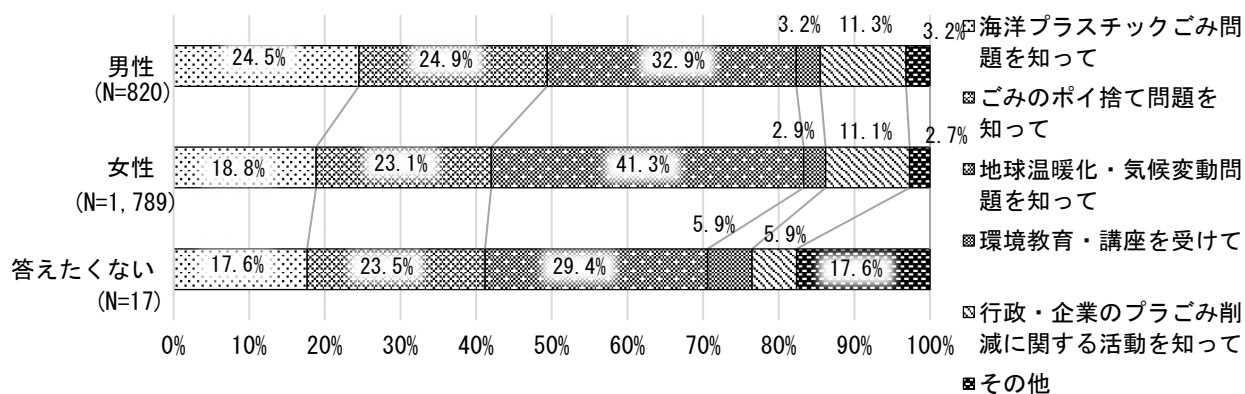
年齢層別の集計では、それぞれの年齢層の特徴として、若年層は「環境教育・講座を受けて」の割合がほかの年齢層よりも比較的大きく、中年層は「海洋プラスチックごみ問題を知って」の割合がほかの年齢層よりも比較的大きい、そして高齢層は「ごみのポイ捨て問題を知って」の割合がほかの年齢層よりも比較的大きいという結果になりました。



(クロス集計結果)【年齢層別】プラごみ削減に対する意識が高まったきっかけ

	海洋プラスチックごみ問題を知って	ごみのポイ捨て問題を知って	地球温暖化・気候変動問題を知って	環境教育・講座を受けて	行政・企業のプラごみ削減に関する活動を知って	その他	合計(件)
若年層	24.5% (51件)	15.9% (33件)	31.3% (65件)	8.2% (17件)	14.4% (30件)	5.8% (12件)	100% (208件)
中年層	30.2% (188件)	17.7% (110件)	33.5% (209件)	3.9% (24件)	8.8% (55件)	5.9% (37件)	100% (623件)
高齢層	16.8% (302件)	26.7% (479件)	41.2% (740件)	2.1% (38件)	11.6% (208件)	1.6% (28件)	100% (1,795件)
合計	541件	622件	1,014件	79件	293件	77件	2,626件

男女別の集計結果は、男性の方が「海洋プラスチックごみ問題を知って」と回答した割合が大きく、女性の方が「地球温暖化・気候変動問題を知って」と回答した割合が大きいという結果になりました。



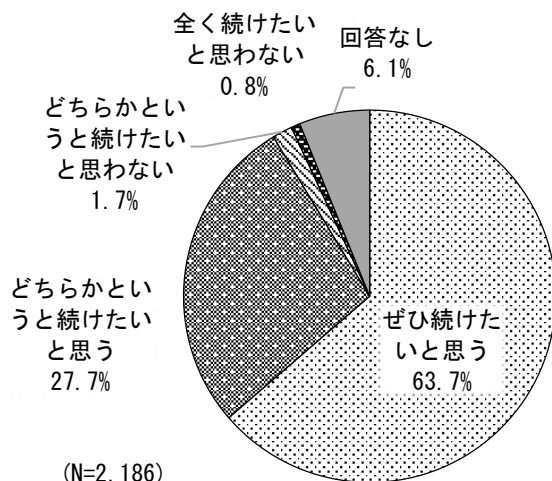
(クロス集計結果)【男女別】プラごみ削減に対する意識が高まったきっかけ

	海洋プラスチックごみ問題を知って	ごみのポイ捨て問題を知って	地球温暖化・気候変動問題を知って	環境教育・講座を受けて	行政・企業のプラごみ削減に関する活動を知って	その他	合計 (件)
男性	24.5% (201 件)	24.9% (204 件)	32.9% (270 件)	3.2% (26 件)	11.3% (93 件)	3.2% (26 件)	100% (820 件)
女性	18.8% (337 件)	23.1% (414 件)	41.3% (739 件)	2.9% (52 件)	11.1% (199 件)	2.7% (48 件)	100% (1,789 件)
答えたくない	17.6% (3 件)	23.5% (4 件)	29.4% (5 件)	5.9% (1 件)	5.9% (1 件)	17.6% (3 件)	100% (17 件)
合計	541 件	622 件	1,014 件	79 件	293 件	77 件	

8. プラごみ削減に対する今後の意欲

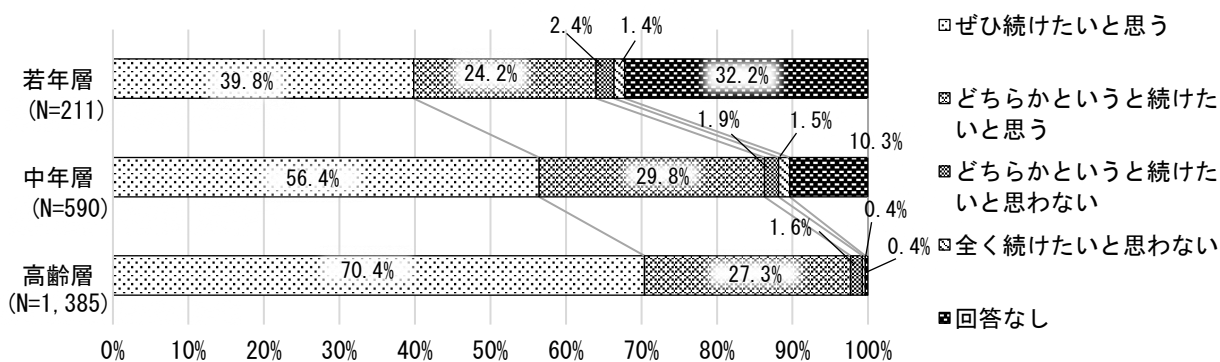
Q10. 「プラごみダイエット行動宣言」は令和6年3月で終了の予定ですが、今後もプラごみを減らしポイ捨てをなくす取り組みを続けたいと思いますか。

「ぜひ続けたいと思う」「どちらかという続けたいと思う」を合わせた「続けたいと思う」割合は91.4%となりました。また、「どちらかという続けたいと思わない」「全く続けたいと思わない」を合わせた「続けたいと思わない」割合は2.5%になりました。



回答	回答数
ぜひ続けたいと思う	1,392
どちらかという続けたいと思う	605
どちらかという続けたいと思わない	38
全く続けたいと思わない	17
回答なし	134

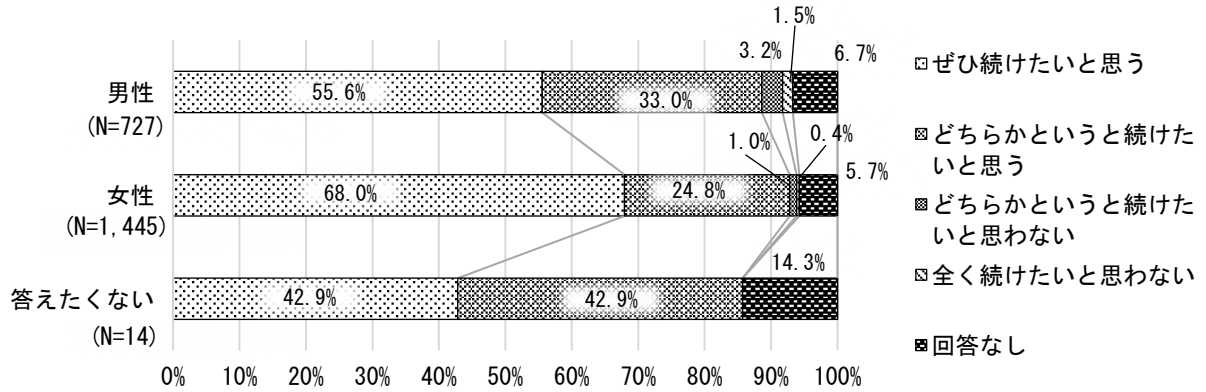
また、年齢層別の集計では、年齢が高くなるにつれ「ぜひ続けたいと思う」と回答した割合が大きいという結果になりました。



(クロス集計結果)【年齢層別】令和6年3月以降のプラごみ削減・ポイ捨てゼロに対する意欲

	ぜひ続けたいと思う	どちらかという続けたいと思う	どちらかという続けたいと思わない	全く続けたいと思わない	回答なし	合計 (件)
若年層	39.8% (84件)	24.2% (51件)	2.4% (5件)	1.4% (3件)	32.2% (68件)	100% (211件)
中年層	56.4% (333件)	29.8% (176件)	1.9% (11件)	1.5% (9件)	10.3% (61件)	100% (590件)
高齢層	70.4% (975件)	27.3% (378件)	1.6% (22件)	0.4% (5件)	0.4% (5件)	100% (1,385件)
合計	1,392件	605件	38件	17件	134件	2,186件

男女別の集計結果は、「続けたいと思う」割合はほとんど差が見られなかったものの、その内訳は、女性の方が「ぜひ続けたいと思う」と回答した割合が大きという結果になりました。



(単純集計結果)【男女別】令和6年3月以降のプラゴミ削減・ポイ捨てゼロに対する意欲

	ぜひ続けたいと思う	どちらかという続けたいと思う	どちらかという続けたいと思わない	全く続けたいと思わない	回答なし	合計 (件)
男性	55.6% (404 件)	33.0% (240 件)	3.2% (23 件)	1.5% (11 件)	6.7% (49 件)	100% (727 件)
女性	68.0% (982 件)	24.8% (359 件)	1.0% (15 件)	0.4% (6 件)	5.7% (83 件)	100% (1,445 件)
答えたくない	42.9% (6 件)	42.9% (6 件)	0.0% (0 件)	0.0% (0 件)	14.3% (2 件)	100% (14 件)
合計	1,392 件	605 件	38 件	17 件	134 件	2,186 件

Ⅲ. 付属資料

調査票

以下の内容の調査項目を、スマホアンケート及びイベントでの協力呼びかけにて調査いたしました。

Q1. あなたの性別についてあてはまるものを選んでください。

- 男性
- 女性
- 答えたくない

Q2. 「プラごみダイエット行動宣言」についてお聞きになったことはありますか。

- 宣言したことがある
- 聞いたことはあるが、宣言したことはない
- 聞いたことはない

Q3. 「プラごみダイエット行動宣言」について、どこでお知りになりましたか。

(複数選択可)

- 枚方市ホームページで
- ポスターを見て
- SNS (LINE・Facebook 等) で
- 家族・知人から聞いて
- イベントのブースで
- 講座等で
- その他

Q4. 使い捨てプラスチックの使用を控え、プラスチックごみの量を減らす行動に取り組んでいますか。

- 日頃から取り組んでいる
- 時々取り組むことがある
- 取り組んだことがない

Q5. プラスチックごみの量を減らす行動について、今後取り組んでみたいと思いますか。

- ぜひ、取り組んでみたい
- どちらかというに取り組んでみたい
- 取り組んでみようと思わない

Q6. ポイ捨て・置き去りごみをゼロにするための行動に取り組んでいますか。

- 日頃から取り組んでいる
- 時々取り組むことがある
- 取り組んだことがない

Q7. ポイ捨て・置き去りごみをゼロにするための行動について、今度取り組んでみたいと思いますか。

- ぜひ取り組んでみたい
- どちらかというに取り組んでみたい
- 取り組んでみようと思わない

Q8. 「プラごみダイエット行動宣言」が開始される前の令和元年頃と比較して、あなたのプラごみの削減に対する意識をお聞かせください。

- プラごみを削減しようという意識がより一層高まった
- プラごみを削減しようという意識が少しは高まった
- プラごみを削減しようという意識はこれまでと変わらなかった
- これまでと変わらずプラごみを削減しようという意識は特にはない

Q9. プラごみ削減に対する意識が高まったきっかけについてお答えください。
(複数選択可)

- 海洋プラスチックごみ問題を知って
- ごみのポイ捨て問題を知って
- 地球温暖化・気候変動問題を知って
- 環境教育・講座を受けて
- 行政・企業のプラごみ削減に関する活動を知って
- その他

Q10. 「プラごみダイエット行動宣言」は令和6年3月で終了の予定ですが、今後もプラごみを減らしポイ捨てをなくす取り組みを続けたいと思いますか。

- ぜひ続けたいと思う
- どちらかという続けたいと思う
- どちらかという続けたいと思わない
- 全く続けたいと思わない

Q11. あなたの年齢についてお尋ねします。

10代

20代

30代

40代

50代

60代

70代

80代

90代以上

アンケートは以上です。ありがとうございました。